

「ボートレース若松 施設整備事業」に係る公共事業評価 (事前評価2)について

*本文中の頁数は、パワーポイント資料の頁

1 事業目的

ボートレース若松では、老朽化が進む西スタンド棟の大規模改修を契機に、ボートレース若松が保有する施設全体の在り方を戦略的に見直し、地域から必要とされる「ボートレースパーク化」を図ることで、新規ファンの獲得や地域貢献を目指すもの。
 (9頁、25頁【目的・必要性】)

2 全体事業費 (概算)

【単位：百万円】

全体 事業費 (概算)	6,950		事業費 財源 内訳	ボートレース 事業収益	一般財源 (税等)	BR振興会 助成金	企業債
	【内訳】	西スタンド棟他の改修		5,345	5,345	0	0
	地域貢献エリアの新設	1,262	969	0	293	0	
	設計費等	343	343	0	0	0	

- ・ 事業費財源は事業収益を積み立てて確保できており、経営戦略にて目標に掲げた一般会計繰出金への影響は生じない見通し (7、21頁)

3 施設改修の概要

(1) 西スタンド棟の改修 ～快適な観戦環境の提供で新規ファン獲得～

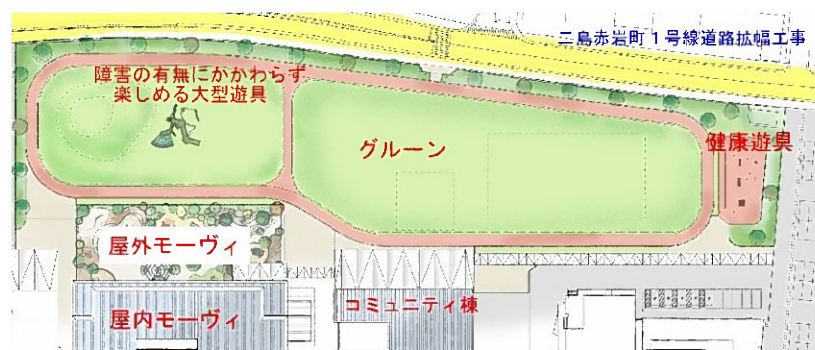
- ・ 女性や若者、ファミリー等、新たなファン層を開拓するため、快適さや開放感を演出した有料席等のエリアを整備 (12頁)

(2) 地域貢献エリアの新設 ～子どもからシニアまで気軽に楽しめる場所づくり～

- ・ 地域貢献をテーマに、東スタンド前の駐車場 10,000 m²を活用して、遊戯施設や芝生広場、各種イベント可能な多目的施設を整備(14、15、16、18頁)



【地域貢献エリアのイメージ図】



(3) 整備による主な効果等

- ・ 子育て支援や健康づくり、憩いの場として、地域に貢献
- ・ ボートレース業界が推進している施設全体の「ボートレースパーク化」を実現し、業界全体の発展に貢献(9、19、20、26 頁【背景・将来需要・目的】)
- ・ 事業実施に伴い業界への貢献が評価され、ビッグレースの誘致につながる(30、31頁【採算性】)
- ・ 西スタンド棟の整備により年間20万人にも及ぶ来場者の安全性確保(11、25 頁【必要性】)

4 スケジュール



5 今後の予定

- ・ 令和5年1月27日 : 公共事業評価に関する検討会議 (外部評価)
- ・ 令和5年2月21日～3月22日 : 市民意見の聴取 (パブリックコメント)
- ・ 令和5年3月以降 : 経済港湾委員会に報告